

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。

ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容を示しています



禁止

「行ってはいけない」内容です。



必ず守る

「行わなければならない」内容です。

注意

●組立および設置時の注意

必ず守る	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
禁止	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
必ず守る	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
禁止	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
必ず守る	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
禁止	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
必ず守る	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

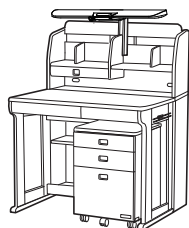
- 天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。

このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

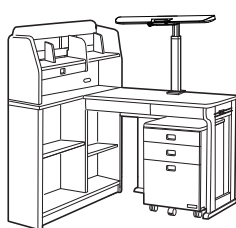
！ 組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5と、用途に応じて5種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから「1 シェルフ→2 デスク→3 デスクとシェルフの組み付け」の順に組立て方法のSTEPをご覧になりながら組み立ててください。

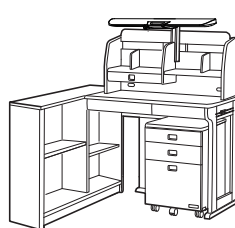
※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。



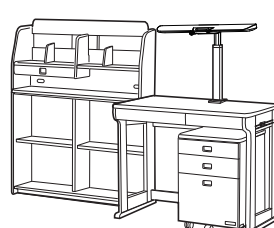
●STEP1
(スタンダードスタイル)



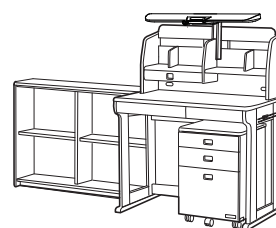
●STEP2
(ユニットデスクスタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP3
(カウンタースタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP4
(ゼパレートスタイル)



●STEP5
(ゼパレートカウンタースタイル)

1 シェルフの組立て方法

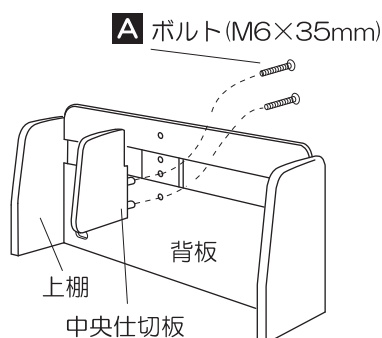
※シェルフから組立てると少ないスペースで組立てできます。

■シェルフ付属品

A	B	C	D	E	F	G	H
ボルト(M6×35mm) TKS6BA635	連結ピン SZC8MB605	回転金具 SZC8MKN18	穴かくしキャップ SZC9AC18R SZC9AC18W	ナット用キャップ SZC4DC17R SZC4DC17W	樹脂棚ダボ SZCTTD09G	ユニット連結金具 SZC3LK14U	ボルト(M6×16mm) TKS6BL616
×2	×4	×4	×1	×7	×8	×2	×6
I コンセントボックス KRE9SW10L	J ボルト(M6×35mm) TKS6BA635	※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段がBR/WT色、下段がWW色の部品品番となります。					
×1	×1	① 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。 → お子様飲み込むことがあります。 ② スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。 組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。 → 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。					

全STEP共通

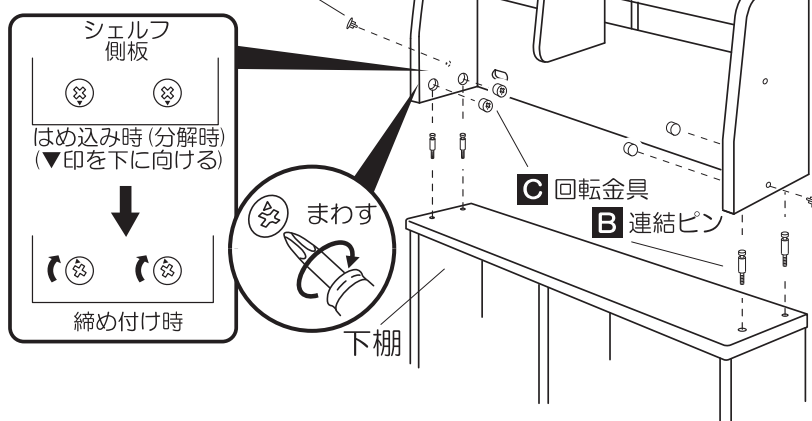
■上棚中央仕切板の取り付け



STEP4の場合

■上棚と下棚の取り付け

E ナット用キャップ



- STEP1・STEP2・STEP3・STEP5の場合はデスクを先に組み立てた後
下記ページのデスクとシェルフの組付け方法をご参照ください。
- STEP1の場合……………P5
- STEP2・STEP3の場合…… P6～P7
- STEP5の場合……………P7

2 デスクの組立て方法

■デスク付属品

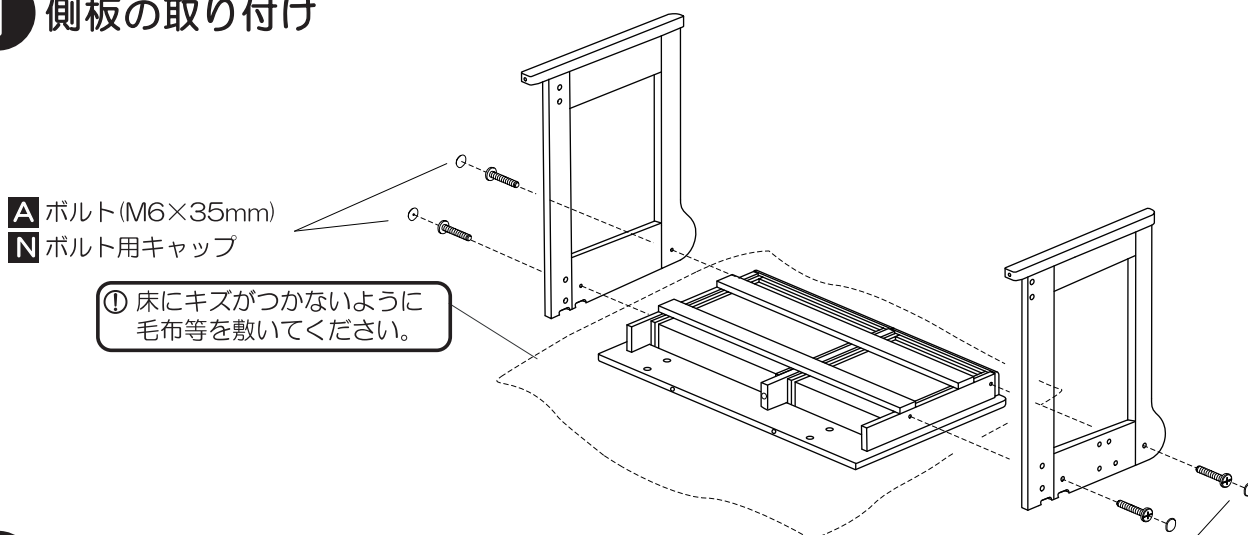
A ボルト(M6×35mm)	B 連結ピン	C 回転金具	D 穴かくしキャップ	E ナット用キャップ	N ボルト用キャップ	O カバンフック	P ボルト(M6×25mm)
TKS6BA635 ×13	SZC8MB605 ×2	SZC8MKN18 ×4	SZC9AC18R SZC9AC18W ×2	SZC4DC17R SZC4DC17W ×3	SZC4BC19R SZC4BC19W ×12	SZC4KF20R SZC4KF20W ×1	TKS6BA625 ×1
Q ボルト(M6×90mm)	R ボルト(M6×16mm)	S 拡張天板受金具	T ガッチリ金具	U ボルト(M6×16mm)	V ランドセルハンガー	カギ	
GKU2BU690 ×2	TKS6BL616 ×6	SZC2LKSUK ×2	SZC1GK230 (M6×30mm) ×2 ×2 1セット	GKU4BJ616 ×2 ※部品パックに付属	TIT4KFRAN ×1	LTFTKD503 1セット	

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。カバンフック・キャップ類は、上段がBR/WT色、下段がWW色の部品品番となります。

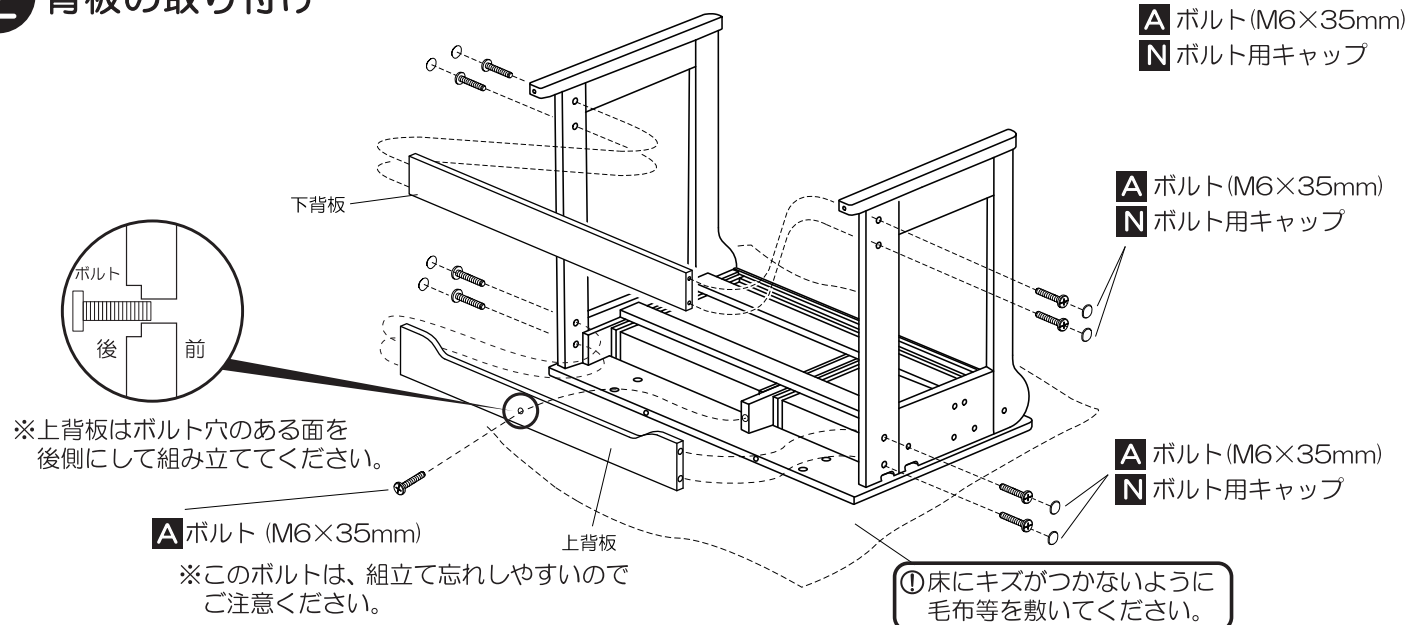
- ①小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
 →お子様が飲み込むことがあります。
 ①スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
 組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
 →部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

STEP1・STEP4・STEP5の場合

1 側板の取り付け



2 背板の取り付け



③ 拡張天板の取り付け・収納

①STEP1の場合は拡張天板を取り付けた状態でお使いいただけません。

(ユニット連結金具でのシェルフとの組付けができません。)

拡張天板は収納してお使いください。

※その他のスタイルでは拡張天板を付けても、収納してもご使用いただけます。

■ 取り付け

R ボルト(M6×16mm)

S 拡張天板受金具

拡張天板

Q ボルト(M6×90mm)

R ボルト(M6×16mm)

S 拡張天板受金具

※向きに注意して
取り付けてください。

デスク天板

■ 収納

B 連結ピン

C 回転金具

拡張天板

回転金具の取り付け

はめ込み時に ▼ 印を連結ピンの方向に向ける

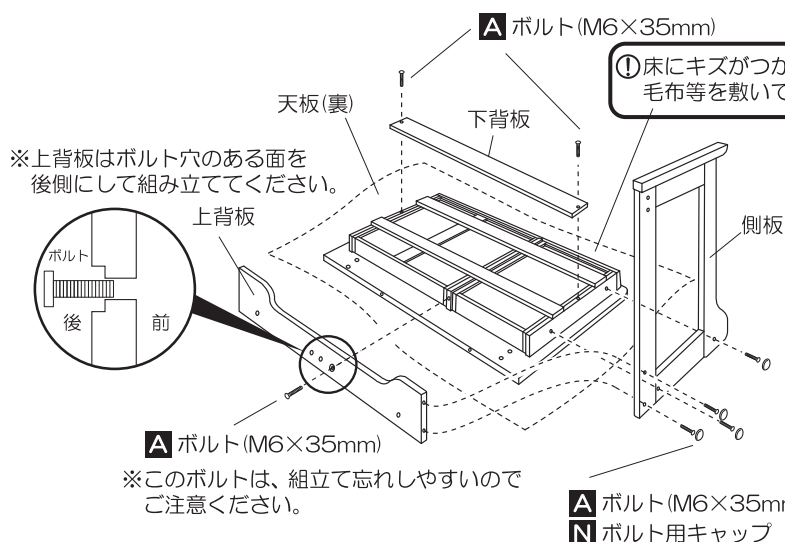
まわす

STEP2・STEP3の場合

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(P1のSTEP2・STEP3の図)

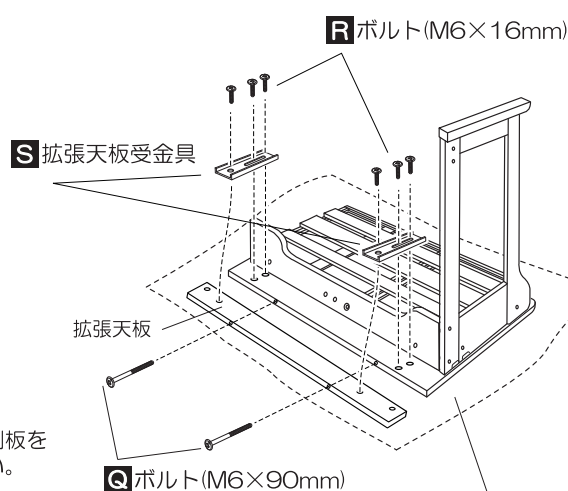
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

- 1 天板と上背板との取り付け
天板、上背板と側板との取り付け
下背板の収納方法



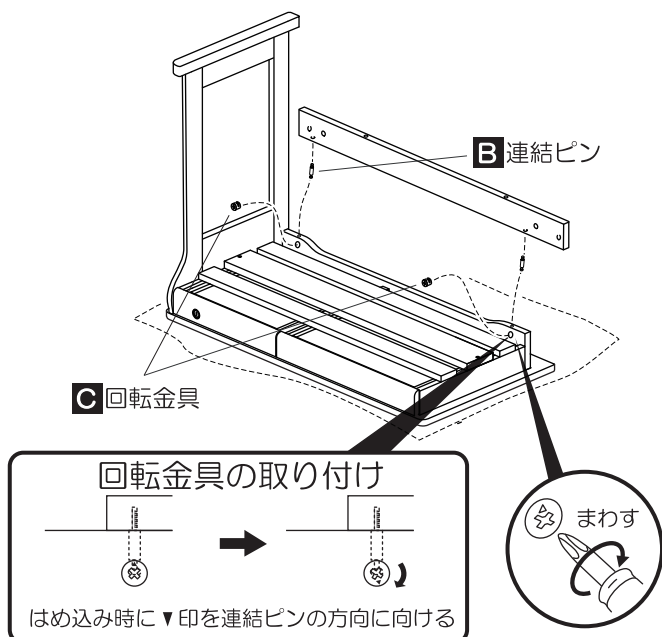
- 2 [a] 拡張天板の取り付け

拡張天板は取り付ける、もしくは収納する、
のどちらかをお選びいただけます。
拡張天板を収納する場合はP5の
“② 拡張天板の収納”をご参照ください。

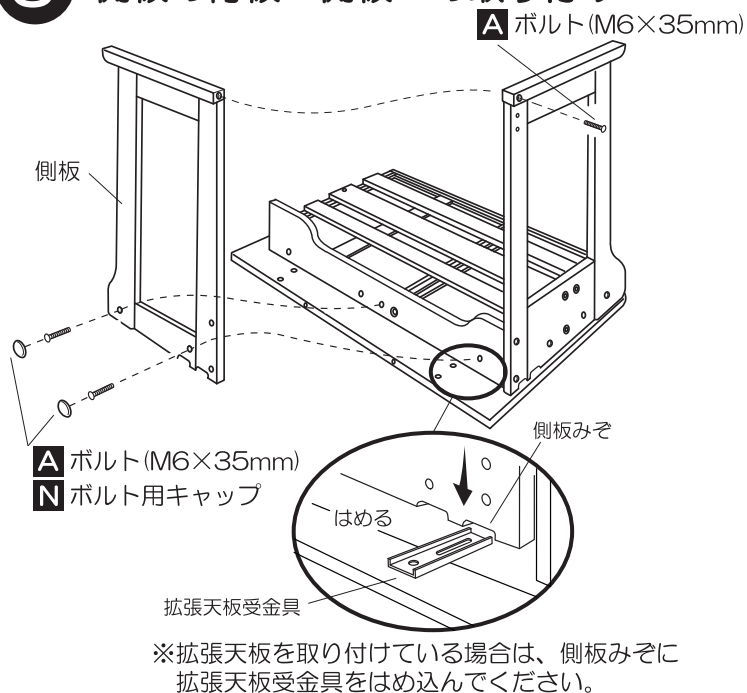


① 床にキズがつかないように
毛布等を敷いてください。

2 [b] 拡張天板の収納



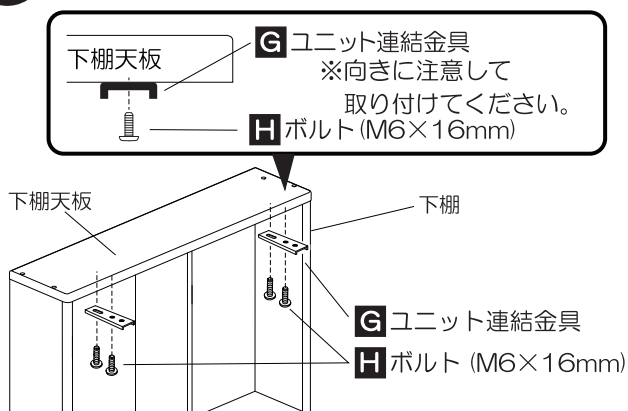
3 側板の背板・側板への取り付け



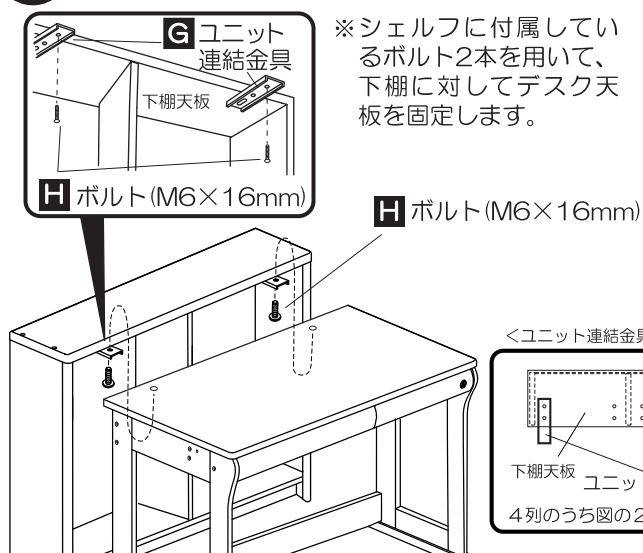
3 デスクとシェルフの組付け方法

STEP1 の場合

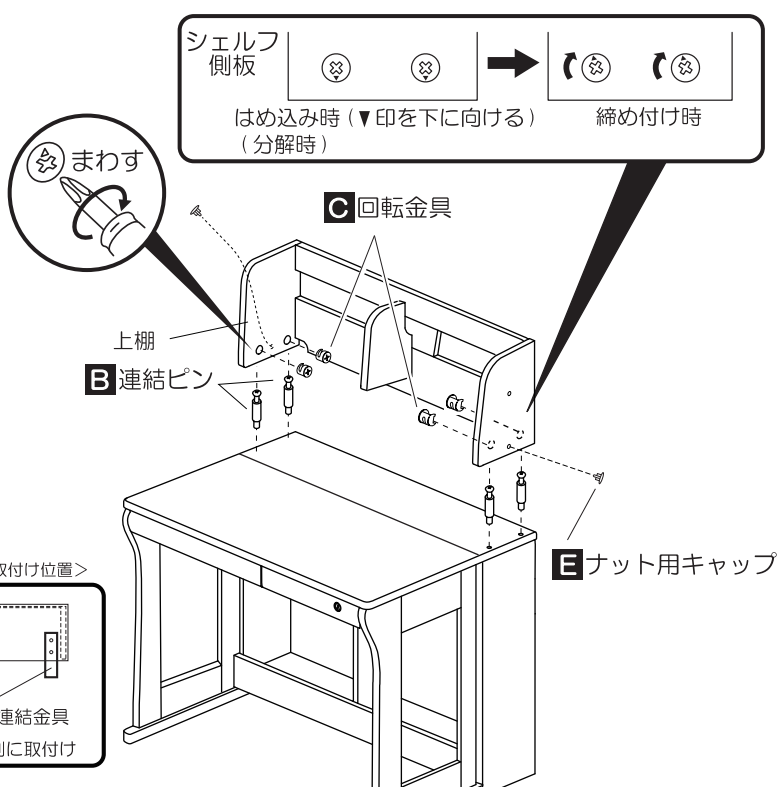
1 ユニット連結金具の取り付け



2 下棚とデスクの組み付け



3 上棚と下棚の組み立て



STEP2・STEP3の場合

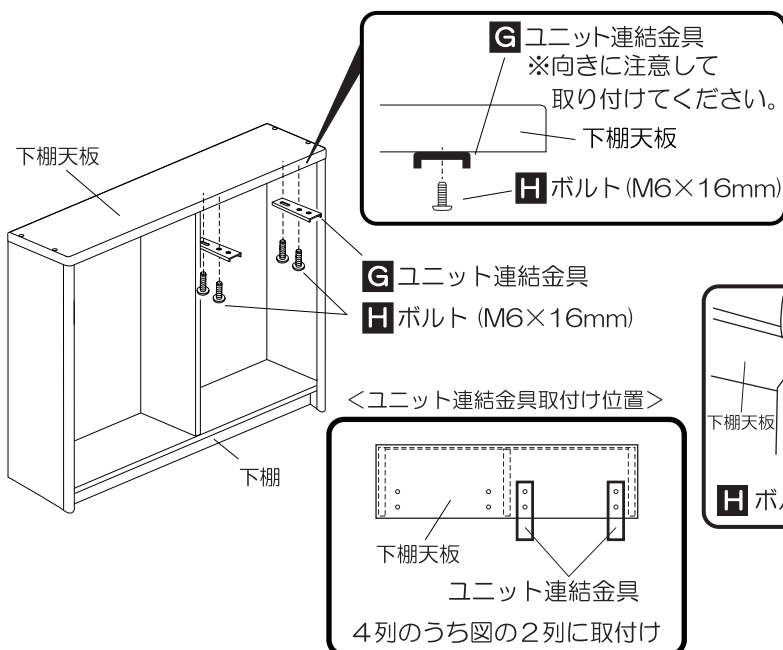
※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(この真下の図)

右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

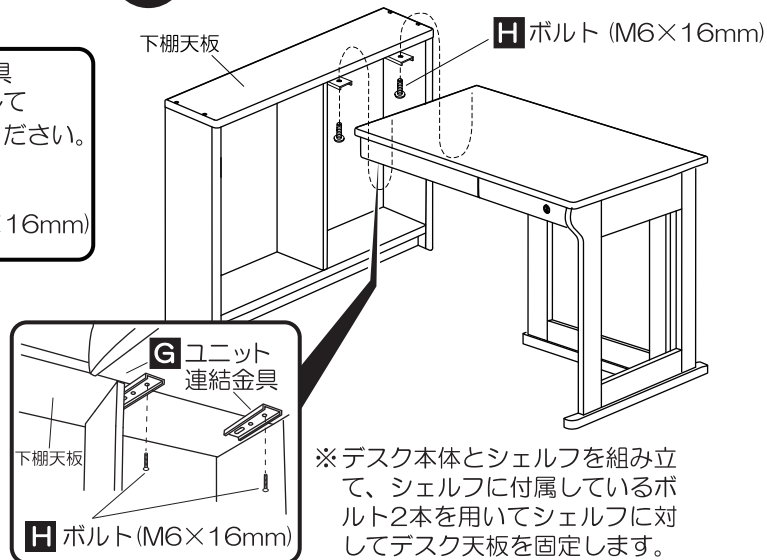
※デスクの拡張天板は取り付けても、取り外してもどちらの状態でも、シェルフと組み付けることができます。

■拡張天板を取り付けていない場合

① ユニット連結金具の取り付け

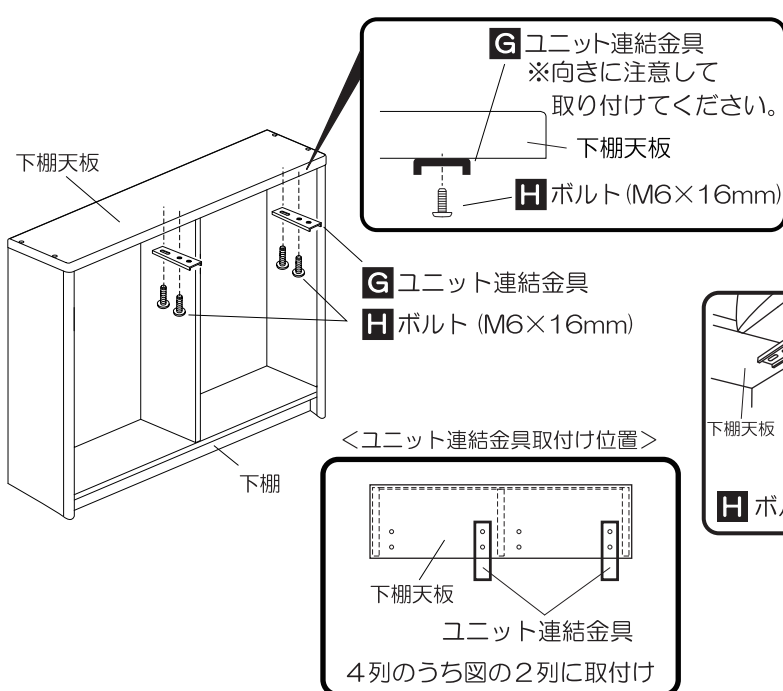


② 下棚とデスクの組み付け

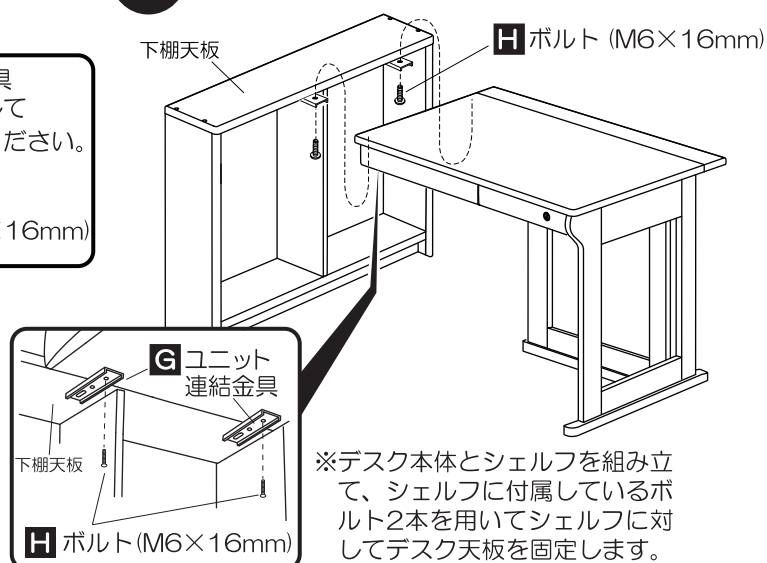


■拡張天板を取り付けている場合

① ユニット連結金具の取り付け

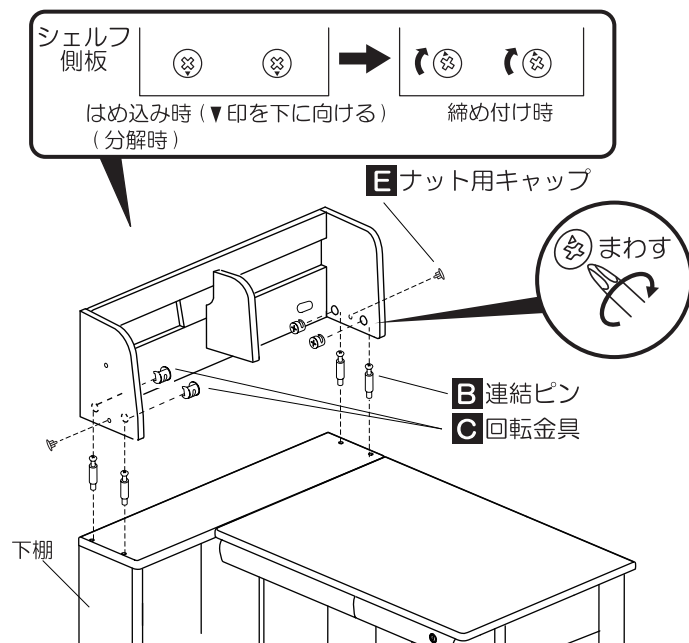


② 下棚とデスクの組み付け



STEP2の場合

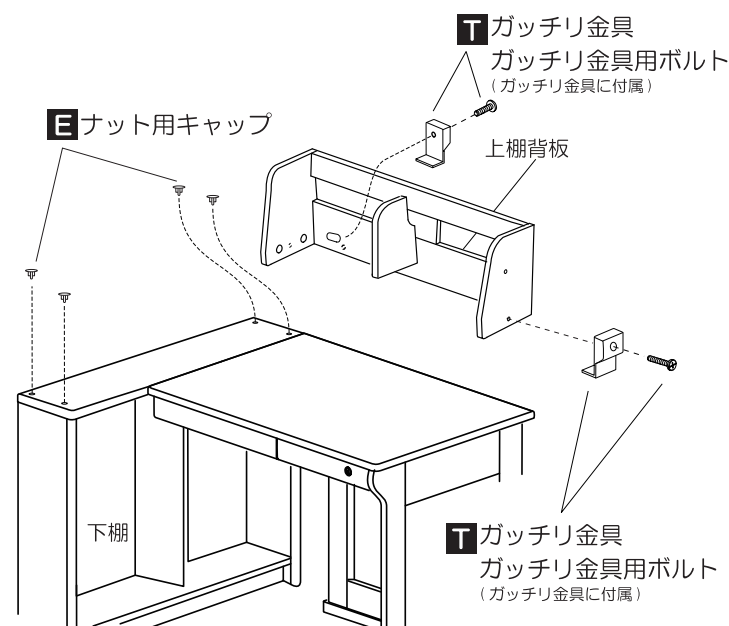
③ 上棚と下棚の取り付け



STEP3の場合

③ 上棚とデスクの取り付け

※上棚背板のボルト穴は2箇所ありますので、下棚に近いボルト穴で固定してください。



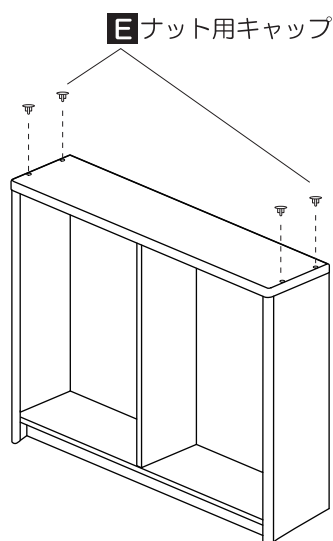
※組立て終わってから最後にもう一度上棚側板と背板に使用した T ガッチリ金具を増し締めししっかり固定してください。

STEP5の場合

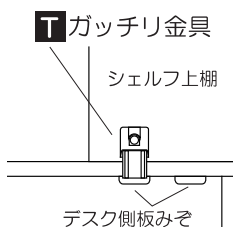
■ 上棚とデスクの取り付け

■ ガッチリ金具の取り付け

※デスクの拡張天板を取り付けても、取外してもどちらの状態でも、取り付けることができます。

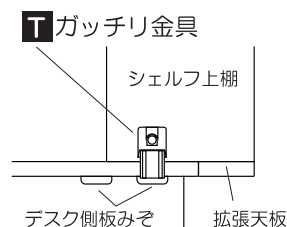


【拡張天板を取付けていない場合】

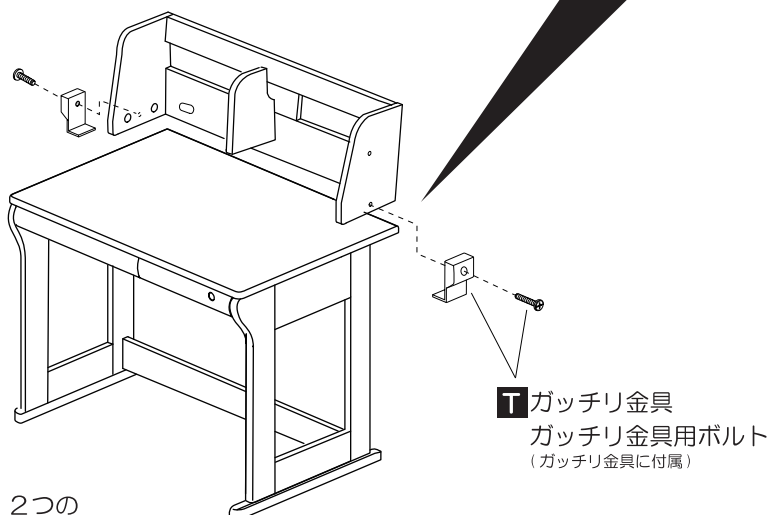


デスク側板みそのうち前側の溝にはまるよう T ガッチリ金具を取り付けてください。

【拡張天板を取付けている場合】



デスク側板みそのうち後側の溝にはまるよう T ガッチリ金具を取り付けてください。



※上棚の左右側面のボルト穴に合わせて、2つの T ガッチリ金具と T ガッチリ金具用ボルトで、デスク天板としっかり固定してください。

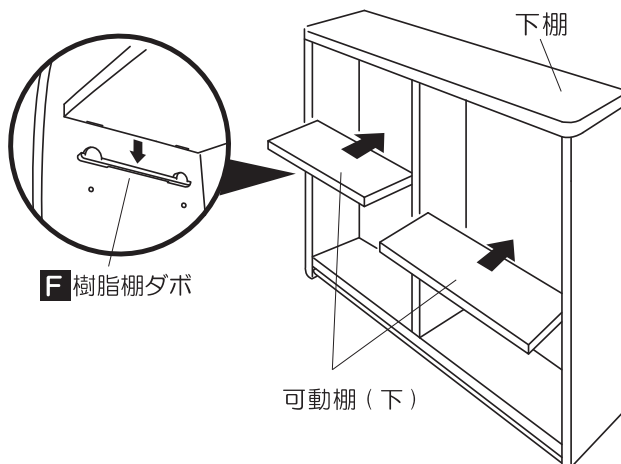
4 可動棚の取付け方法

全STEP共通

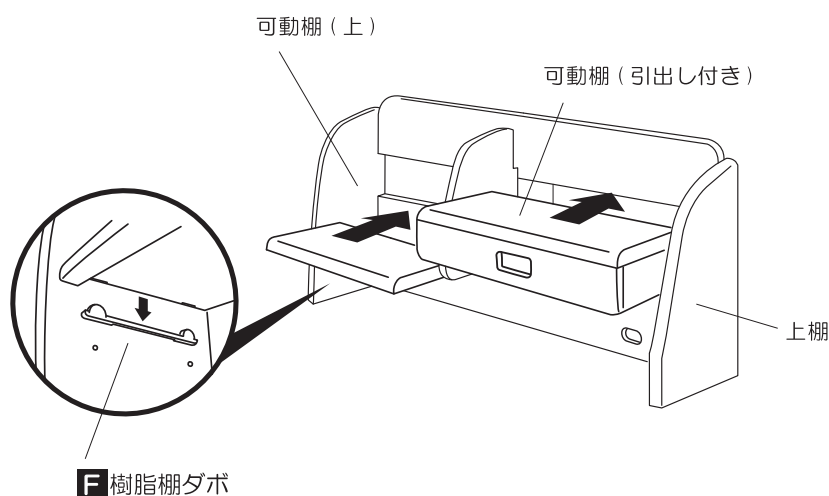
■下棚・上棚への可動棚の取り付け

①可動棚の耐荷重は 15 kg です。
→15 kg以上のものを乗せると破損やケガの原因になります。

①組立て中の上棚への可動棚の取り付けは危険ですので、シェルフの組み立てが終わってから行ってください。
→ケガ・破損の原因になります。



※可動棚 (上) は下棚への取り付けはできませんのでご注意ください。



①引出しの耐荷重は1 kg です。
→1 kg以上のものを入るとシェルフが倒れたりして破損やケガの原因になります。

5 可動仕切板の取付け方法

■可動棚への取付け方法

①可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。

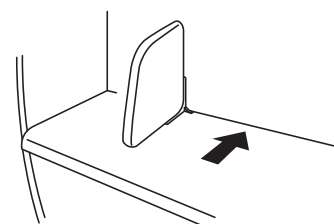
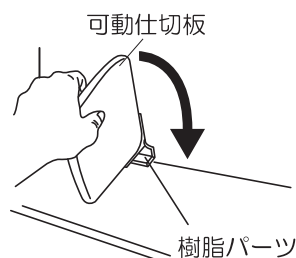
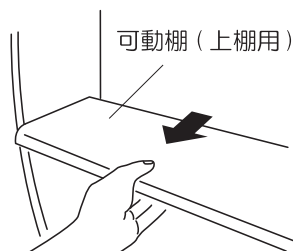
①下棚への可動仕切板の取り付けはできませんので、ご注意ください。



① 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

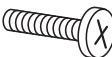
② 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。

③ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

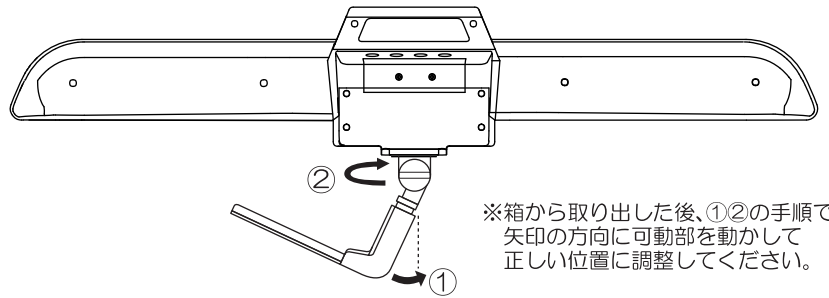


6 照明器具の取付け方法

■ライト付属品

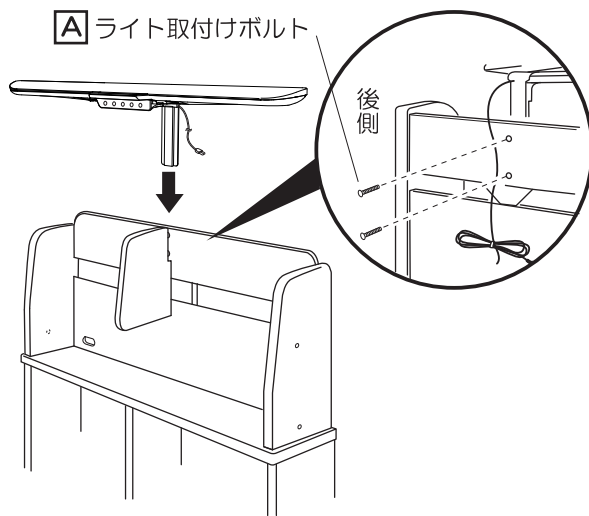
A	ライト取付けボルト	B	クランプ取付けボルト	C	クランプ
	M6×30mm(長)		M6×15mm(短)		
					
	×2		×2		×1

Aのボルトは最初から取り付けてあり、
Bのボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。

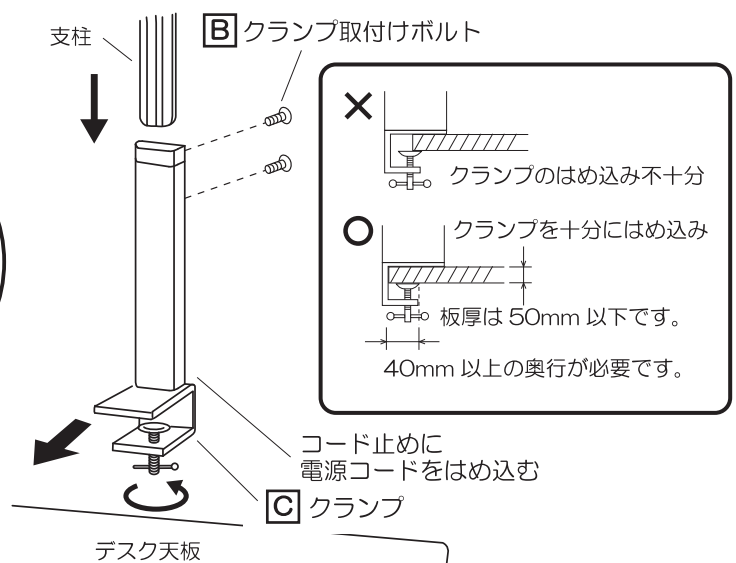


STEP1・STEP3・STEP5 の場合

○ライトを取り付けて使用する場合、シェルフ単独で
使用しないでください。
デスクとシェルフを連結した状態で使用してください。
→転倒し、火災・ケガ・破損の原因になります。



STEP2、STEP4 の場合

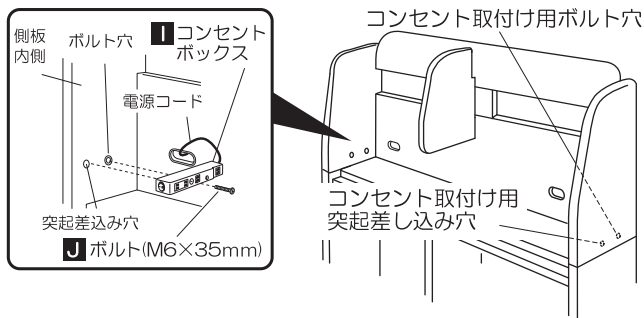


7 コンセントの取付け方法

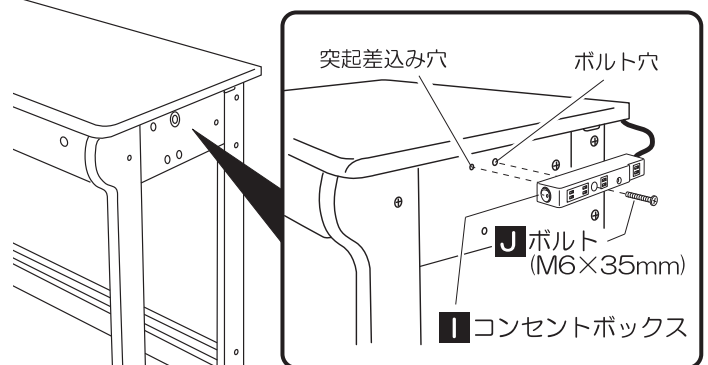
※コンセントボックスを取付けない箇所の突起差込み穴にはD穴かくしキャップを、
ボルト穴にはEナット用キャップをはめ込んでください。

■上棚へのコンセントの取り付け

○コンセントを取り付けて使用する場合、シェルフ単独で
使用しないでください。
デスクとシェルフを連結した状態で使用してください。
→転倒し、火災・ケガ・破損の原因になります。

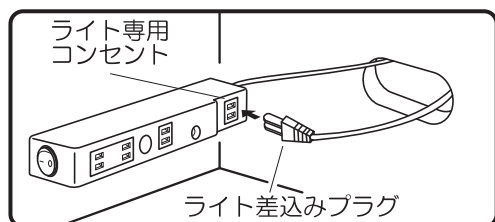


■デスクへのコンセントの取り付け

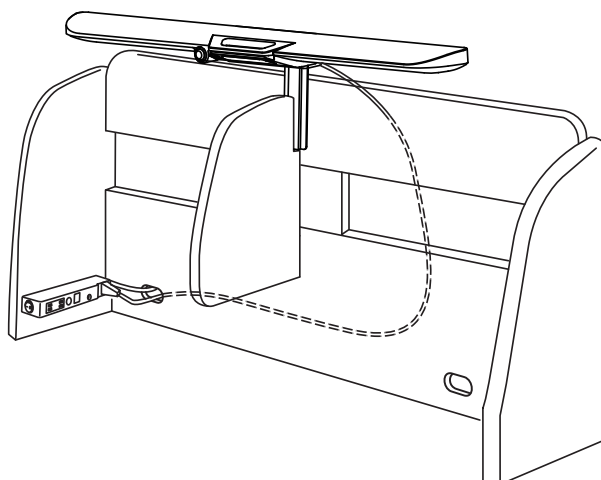


8 ライトとコンセントの結線

※コンセントボックスの一番奥のコンセントにライトの差込みプラグを差し込んでください。ライト専用コンセント以外のコンセントに、ライトの差込みプラグを差し込んだ場合コンセントボックスのスイッチでのライトの点灯・消灯はできません。



※コンセントボックスの先端のスイッチは、
- 側に押した状態がONです。
OFFのままですと、ライト専用コンセントでの使用ができませんのでご注意ください。



9 ランドセルハンガーとカバンフックの取付け方

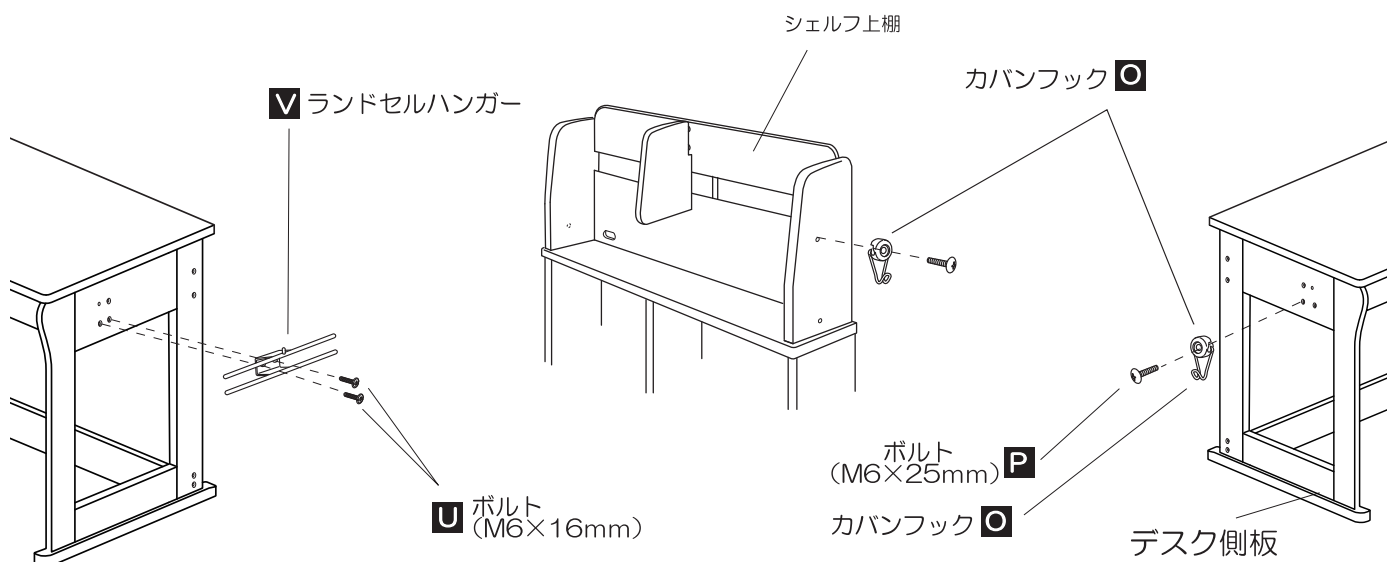
①デスク側板の左右いずれかに、ランドセルハンガーとカバンフックをそれぞれの専用ボルトを用いて取り付けてください。
(カバンフックはシェルフ上棚の側板左右にも取付けできます。)

②ランドセルハンガーとカバンフックを取付けない箇所のボルト穴には **E** ナット用キャップをはめ込んでください。

※ランドセルハンガーは中央の引っ掛け部が上になるようにして取り付けてください。

※ランドセルハンガーの使用方法については別紙で付属しております取扱説明書の、【ランドセルハンガーの使用方法】をご覧ください。

①ランドセルハンガーとカバンフックの耐荷重は 10 kg です。
→ 10 kg 以上のものを掛けると破損やケガの原因になります。

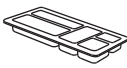
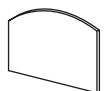


10 ワゴンの組立て方法

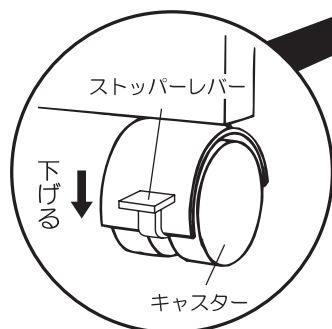
※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

■キャスターの取り付け

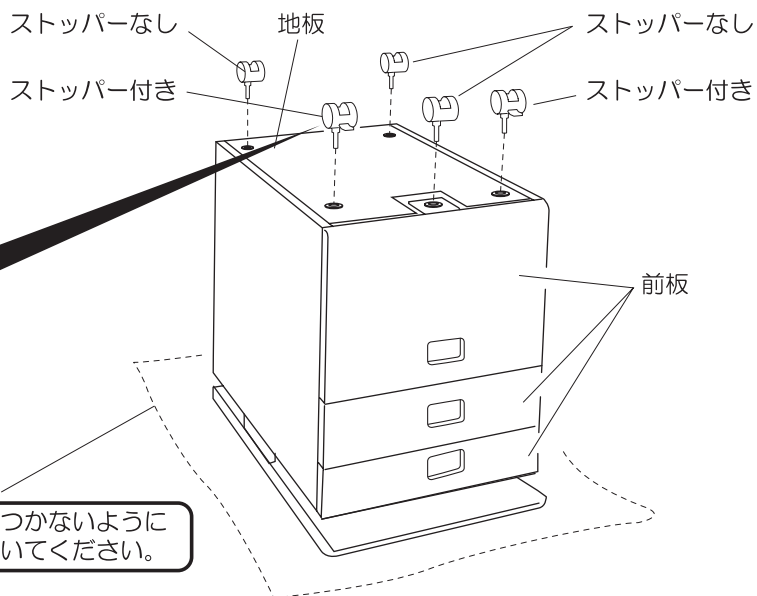
- ① 地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。
 - ② 下段引出しの下にキャスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。
- ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
 - 移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

ワゴン付属部品		
キャスター (5個入り)	ベントレー	仕切板 (下引出し用)
SZC9WC94G	TKS0PE52G	
		
×1 セット	×1	×2

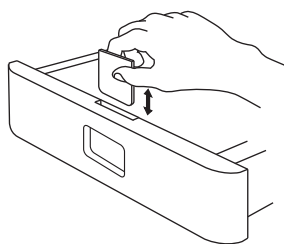
- キャスター1セットは、ストッパー付きが2個、ストッパーなしが3個となります。



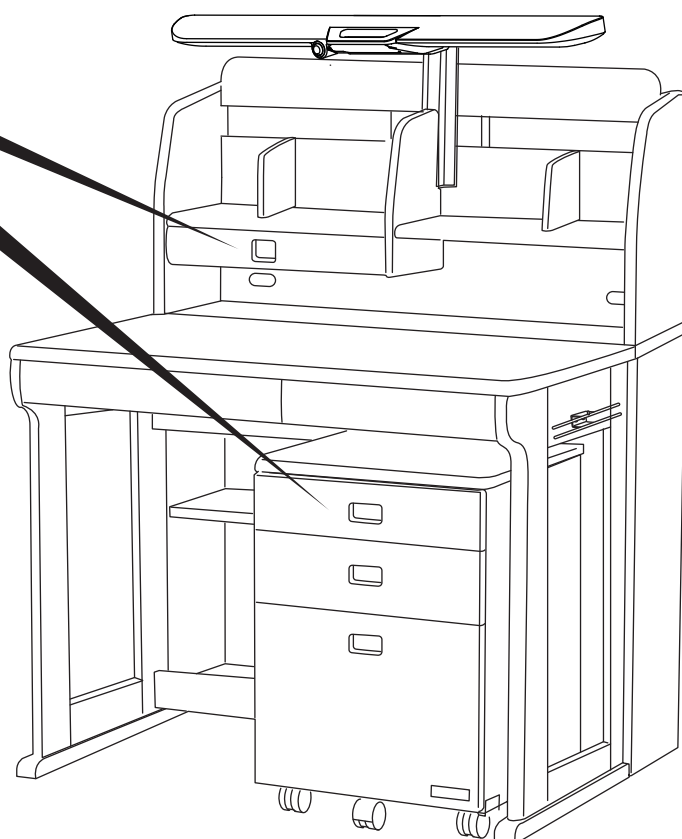
- ① 床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。



11 引出し取手カラープレートの使い方



引出し取手内のカラープレートを用いて、表裏の2色より選んでお使いいただけます。



分解と組替方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替える場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、組み替えの際には一度ご確認ください。<http://kagu.koizumi.co.jp/>